

## 令和2年度（2020年度）の研修会などの主な活動

### ・資料保全（製本）研修の実施

令和2年11月12日と11月19日に、都内区市町村立図書館と都関係機関（東京都議会図書館、東京都公文書館、東京文化会館、東京都立大学図書館、みどりの図書館、東京都江戸東京博物館図書室、東京都現代美術館美術図書室）の職員を対象に資料保全（製本）研修を行い、合わせて42名が受講しました。

この研修は、都立中央図書館が行っている修理や製本、そして資料保存に関する知識を東京都内の図書館と共有していこうと、平成15年度から行っています。人気のある研修会ですが、対応に限界があるため、参加者は各自治体・機関から原則として1名に絞り実施しています。当館職員が講師を務め、保存や修理に関する基本的な考え方を学び、ページの破れやノドの傷みなどの実習を通して正しい知識と基礎的技術の習得を目指しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対策をとりながら、資料保存の基礎と資料防災及び水濡れ資料への対処を行いました。これまでの研修会での主な質問と回答については、[保存・修理についてのQ&A](#)をご覧ください。

### ・講師派遣型研修の実施

東京都の市区町村立図書館からの要請を受け、当館職員による資料保存の研修を行っています。今年度は武蔵野市立図書館（令和3年1月）で実施しましたが、他1件は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

### ・館内職員向け資料防災訓練（説明会）の実施

中央図書館で令和2年11月に行いました。

### ・その他

2020年4月16日（木）NHKニュース「おはよう日本 けさのクローズアップ」コーナーで放映された「図書館の本を水害からどう守るか」（[https://www.nhk.or.jp/d-navi/sci\\_cul/2020/04/story/story\\_200430-2/](https://www.nhk.or.jp/d-navi/sci_cul/2020/04/story/story_200430-2/)）の中で、当館の取り組みが紹介されました。

また、『プロから学ぶ修理ずかん（1）こわれたら』（フレーベル館 2020年12月11日 ISBN：9784577048917）に当館で行っているこわれた本の修復方法が掲載されました。

<https://www.facebook.com/tmlibrary/posts/4070155316332590>

なお、資料保存に関する問い合わせは10件ありました。

### <新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった研修等>

- ・館内職員向けの資料保全（製本）研修
- ・資料保全に特化した「本の修復見学ツアー」「夏休み 手作り和本体験ツアー」「本の修復見学と和装本づくりツアー」